



平成 30 年 10 月 15 日

各 位

東京都大田区大森北1丁目1番10号
会社名 株式会社 大庄
代表者名 代表取締役社長 平 了寿
(コード番号 9979 東証第1部)
問合せ先 専務取締役 水野 正嗣
(TEL 03-5764-2229)

業績予想との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

平成 30 年 7 月 13 日に公表した平成 30 年 8 月期の業績予想と実績値との差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。また、特別損失の計上につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想との差異 (平成 29 年 9 月 1 日～平成 30 年 8 月 31 日) (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	61,900	500	515	580	28 円 04 銭
実績値 (B)	61,503	406	393	202	9 円 78 銭
増減額 (B-A)	△397	△94	△122	△378	—
増減率 (%)	△0.6	△18.8	△23.7	△65.2	—
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 8 月期)	63,957	448	382	△438	△21 円 19 銭

2. 差異の理由

売上高につきましては、既存店売上高実績が計画数値を下回ったことなどが影響し、前回予想を下回りました。営業利益、経常利益につきましては、売上高減少により売上総利益額が減少したことなどが影響し、前回予想を下回りました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記要因に加えて改装・閉店に伴う固定資産除却損や減損損失等の特別損失の計上が計画以上に増加したこともあり、前回予想を下回りました。

3. 特別損失の計上

当社は、平成 30 年 8 月期連結決算において 707 百万円 (うち第 4 四半期会計期間 249 百万円) の特別損失を計上いたします。

詳細は下記の通りです。

- ①固定資産除却損 350 百万円 (うち第 4 四半期会計期間 129 百万円)
店舗改装等に伴う資産の除却・解体工事費用を計上いたします。
- ②減損損失 223 百万円 (同 99 百万円)
最近の業績動向及び今後の見通しを踏まえ、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、店舗設備資産等の減損処理を計上いたします。
- ③店舗関係整理損 64 百万円 (同 10 百万円)
店舗閉鎖後に発生する費用等を計上いたします。
- ④その他 69 百万円 (同 10 百万円)

以上